

流域下水道の下水管の破損事故への対応



9月2日：下水管の破損状況を調査し、損傷を確認

浮流式テレビカメラ



9月2日：下水管の破損状況を調査し、損傷を確認



8月30日～：路面変状等のモニタリング

<路面の変状調査>



<空洞調査>



Kanagawa Prefectural Government

道路面

(レーダー探査)
2 mまで

(表面波探査)
1 2 mまで

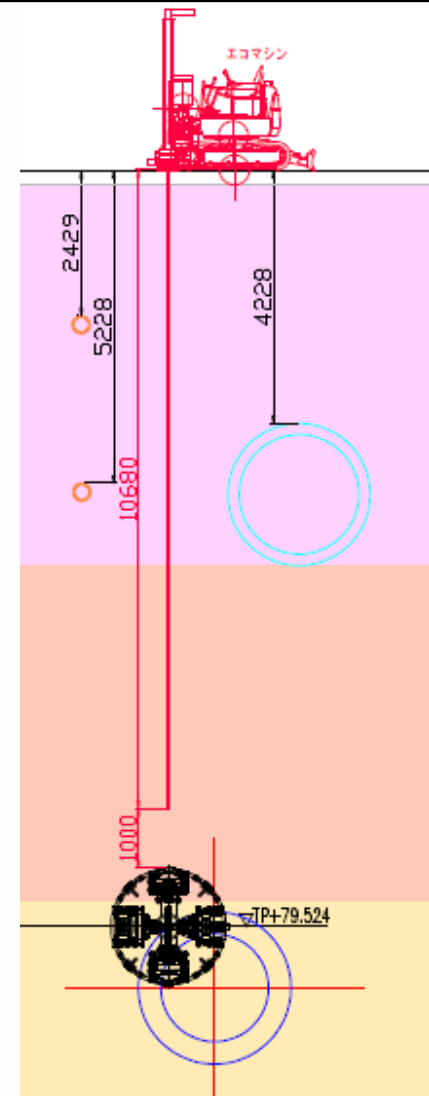
東電シールド管

破損箇所

流域下水管

<東電シールド管変位計測>

<ボーリング調査>



9月11日：破損事故対策実務者連絡会を設置



9月29日：破損事故対策検討委員会を設置



10月28日～

: 下水管内の堆積物の撤去

■ 潜水士による事前調査



10月28日～

: 下水管内の堆積物の撤去

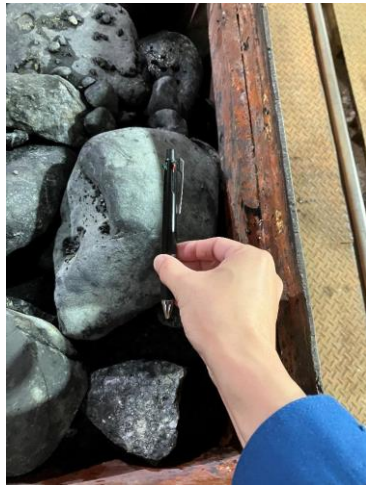
■ 人力による撤去作業の様子



10月28日～1月6日：下水管内の堆積物の撤去

■ 下水管から回収された堆積物 約50m³

＜土砂＞



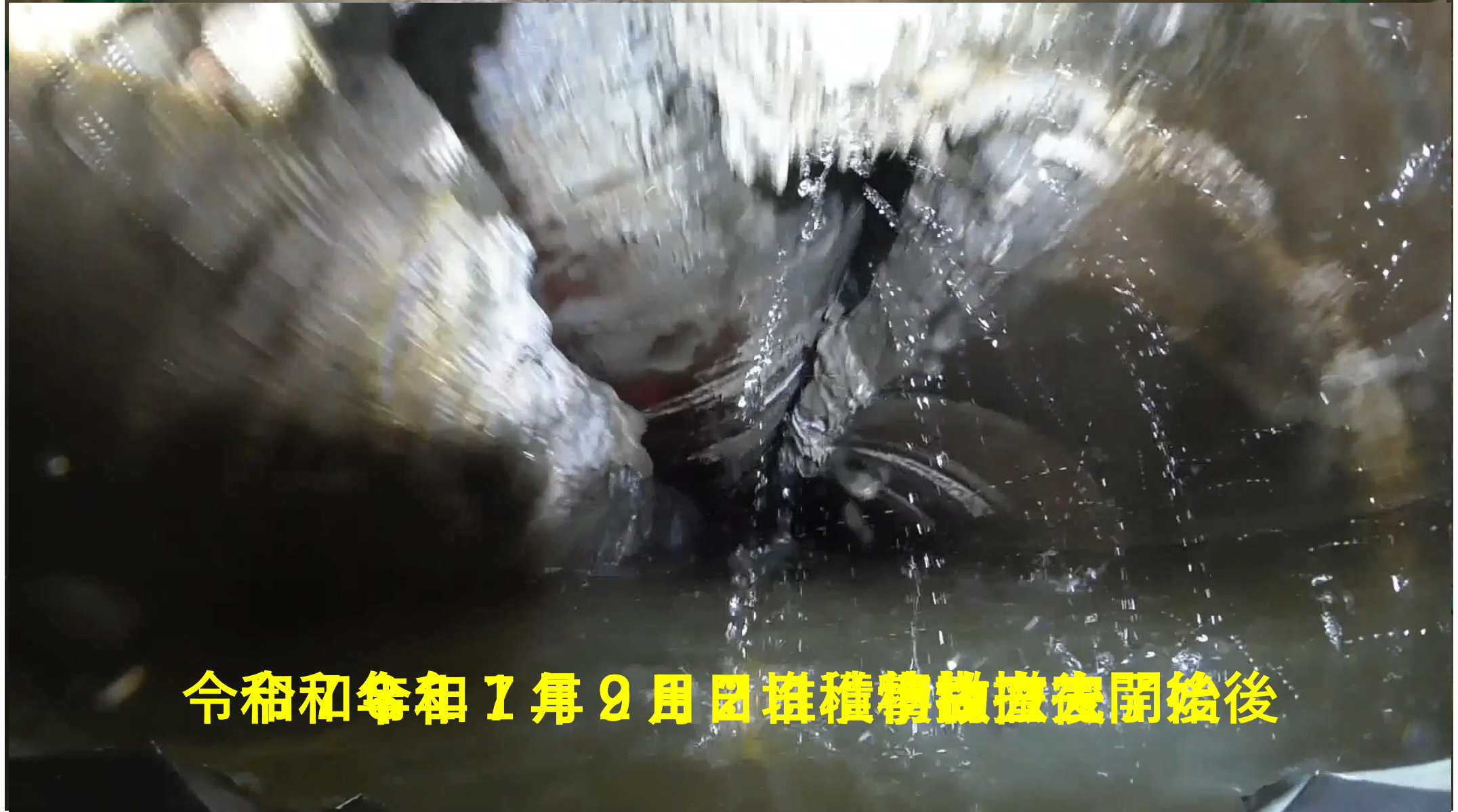
＜コンクリート片＞



＜鉄片＞



土砂撤去に伴う下水管内の水位の変化



令和和年相 1 第 2 月 日 堆積物撤去開始後

12月25日：県による下水管内の確認



周辺地盤の「薬液注入」



東電シールド管の「撤去」



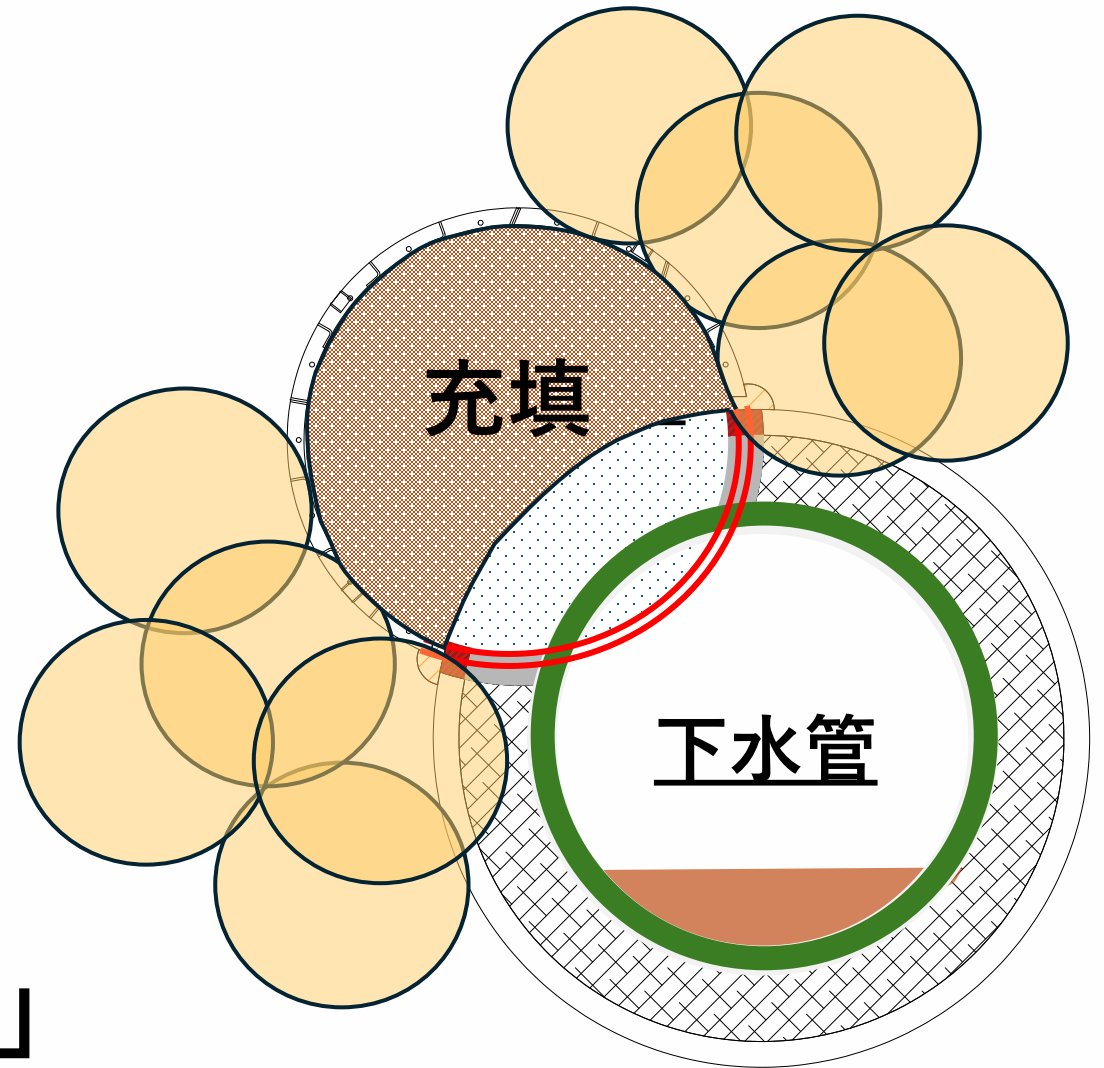
下水管内部の「更生工事」



破損箇所「断面修復」

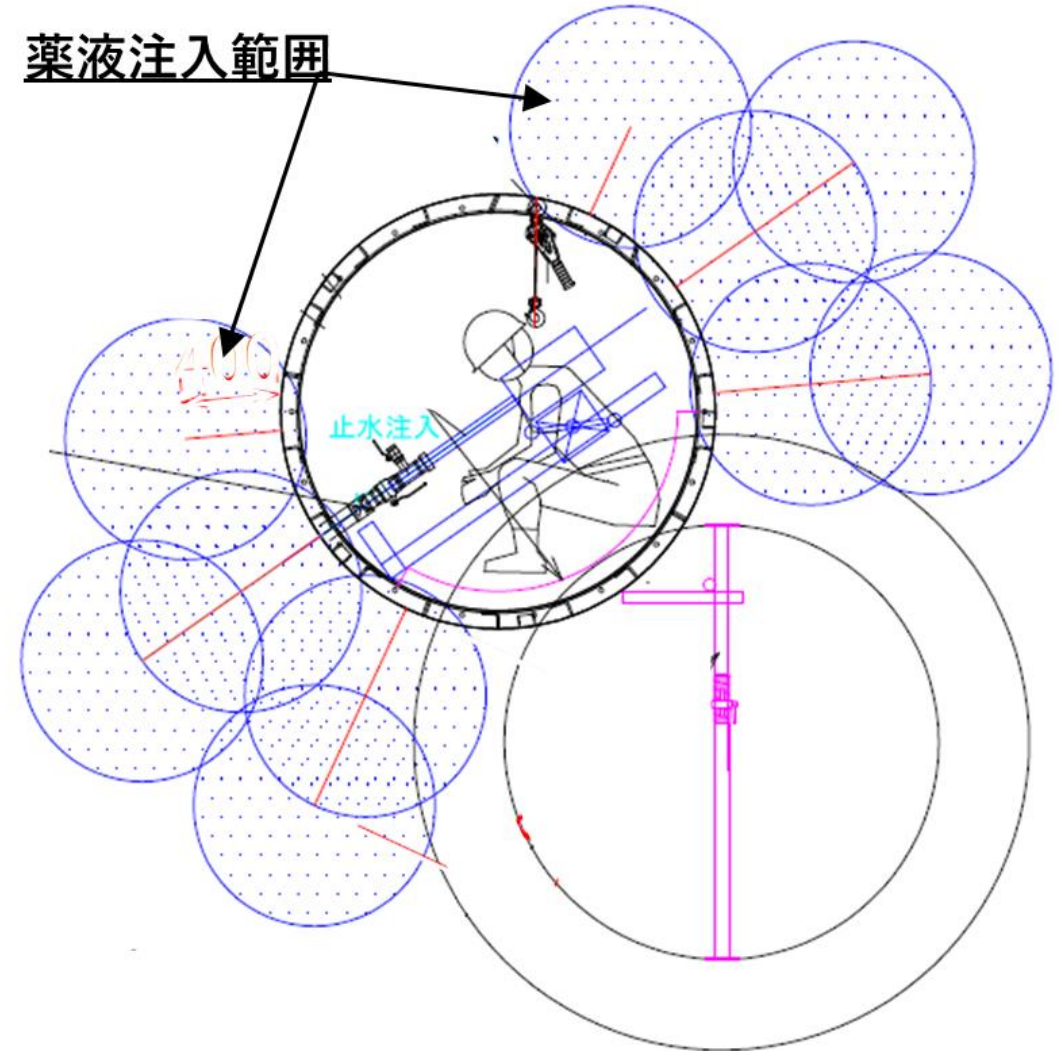


東電シールド管の「内部充填」



復旧に向けた作業内容

■薬液注入 令和8年5月末に完了予定

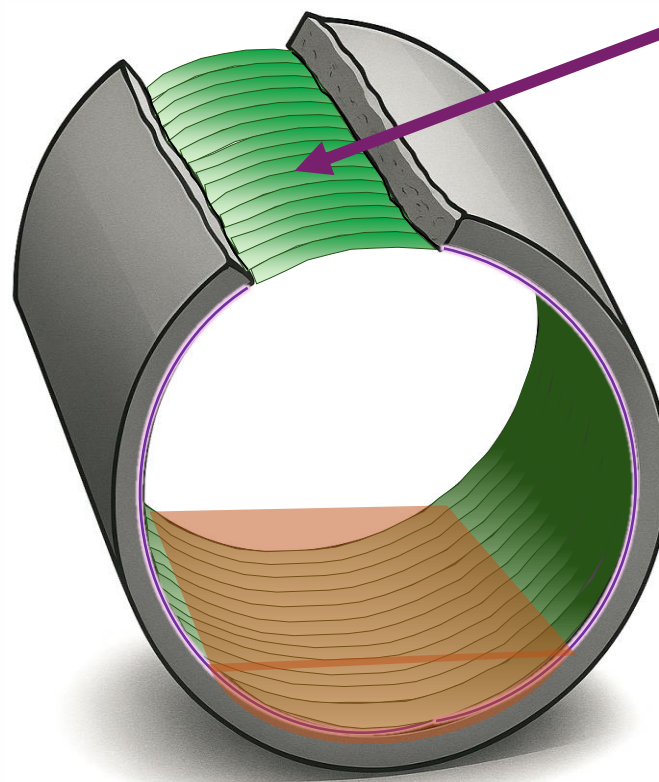
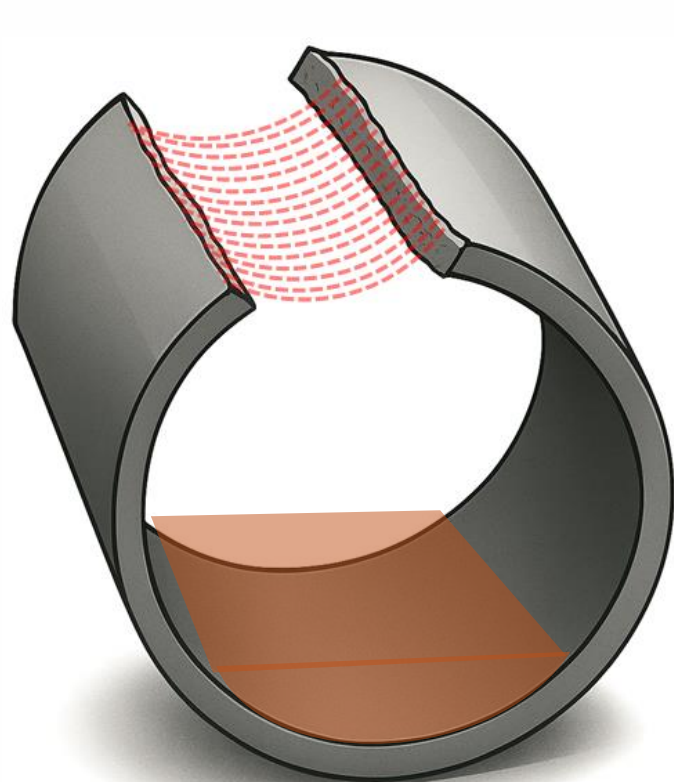


復旧に向けた作業内容

■ 下水管の機能回復 令和8年度末の完了を目標

(1) 東京電力シールド管の
貫通部分を撤去

(2) 下水管内部に部材を巻き立て
管を元どおりに修復(更生工事)

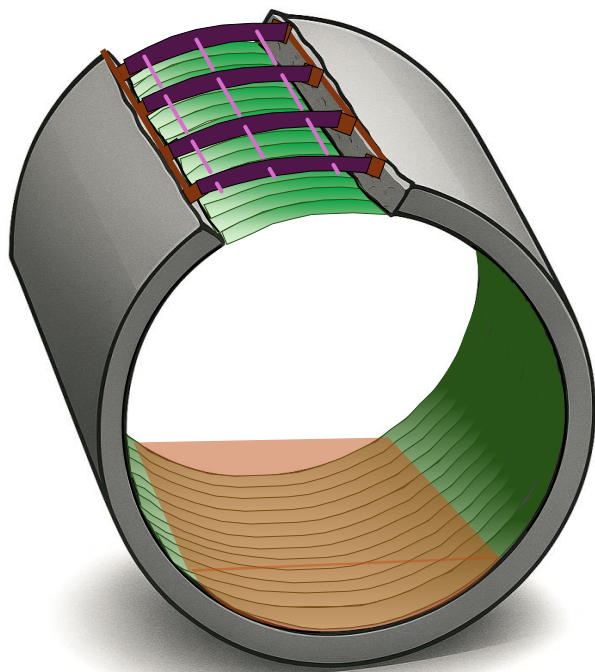


復旧に向けた作業内容

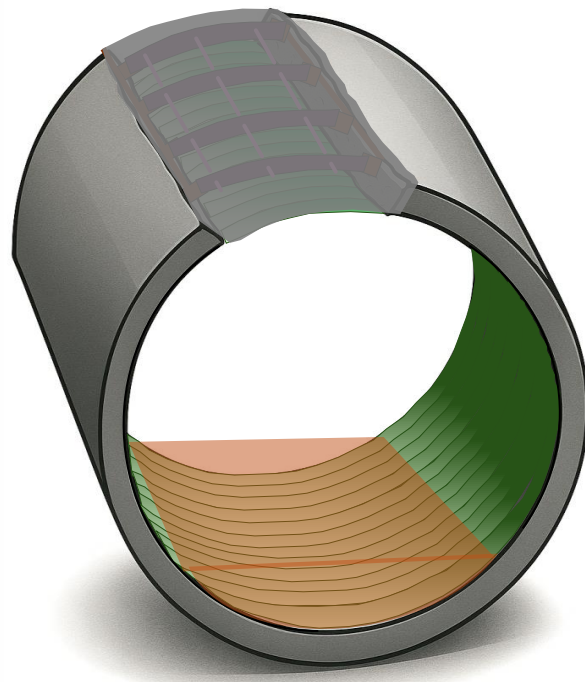
■すべての復旧工事の完了 令和9年度末を目標

下水管 破損部の断面修復

(主桁補強)



(コンクリート充填)



東京電力シールド管 内部充填

